

# 広報



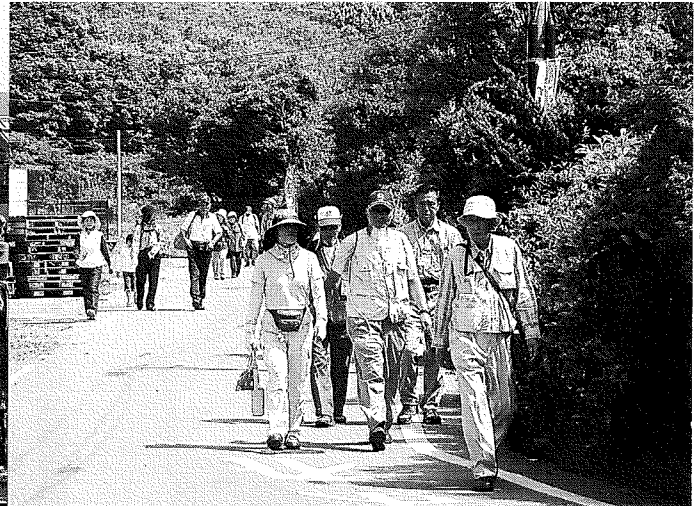
# あ ま 海 士

平成19年

# 7

No. 407

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場  
TEL (08514) 2-0111  
◆印刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)  
Eメール:info@town.ama.shimane.jp



### 町の人口世帯数

総人口 2,444人 (+7)  
男 1,155人 (+10)  
女 1,289人 (-3)  
世帯数 1,097世帯(+2)  
住民基本台帳(6月末現在)  
( )内は4月末との比較

### \*\*第5回スリーデーウォーク満喫...\*\*

初夏の隠岐路を楽しむスリーデーウォークが6月2日～4日にかけて行われ、参加者360名、本土からは300名余の方々を訪れました。地元参加者も日頃の健康づくりに職場・仲間と一緒にこちよいい汗をかく一日となりました。中にはリピーターとなって毎回訪れている方もおられ、地元の方々とも顔みしりになる一場面も・・・。(関連記事P7)

### 主な内容

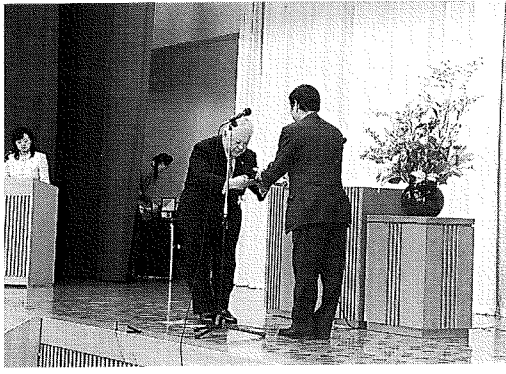
- 立ち上がる農山漁村選定他..... 2～3
- 平成18年度財政状況の公表..... 4～5
- 町の話..... 6～11
- 議会だより..... 12～13
- 人間力推進PJ事業..... 14～17
- 教育だより..... 18～21
- 隠岐島前高校だより他..... 22～23
- 戸籍の窓..... 24

# 平成18年度 傑ふるさと海士 「立ち上がる農山漁村」選定証授与

平成19年5月23日、東京において、海士町（株ふるさと海士）の取り組みが、平成18年度「立ち上がる農山漁村」に選定されその授与式が行われました。

「立ち上がる農山漁村」とは、農林水産業を核として、自律的に経営感覚豊かな農山漁村づくりの先駆的事例を選定し、これを全国に発信することにより、「地域自ら考え行動する」意欲あふれた活動を広め、推進するため、平成16年度から政府をあげて実施しているものです。

海士町においては、平成17

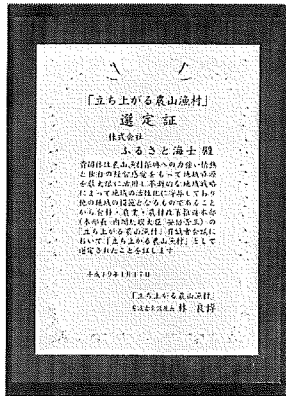


年度から取り組んできた「海」「潮風」「塩」をキーワードに島まるごとブランド化の実現に向けて『地場産業』の振興に努め、CAS冷凍施設や島ならではの資源活用を基盤に新産業の創出に取り組み伝統文化、食文化の復活および女性や高齢者を中心とした島内地域のコミュニティづくりの再生、また、Uイーターン者の雇用の場の創出による地域の定住対策にも大きく貢献できたこと等、地域の活性化や町の自立に向かつて取り組んだことが今回の選定を受けるに至ったものです。

この選定については、平成16年度30事例、平成17年度30事例が選定され、平成18年度は、去る1月17日首相官邸において、(株)ふるさと海士を含め50事例が選定されました。当日は、平成18年度選定された50事例の団体の授与式が行われ、その後、これまで選定された団体が一同に会し、農山漁村と都市住民等のパー

トナーシップを構築し、地域の活性化につなげていく上でポイントを検討する意見交換会、交流会が盛大に行われました。

その後、首相官邸において、安倍総理出席のもとに、代表者（海士町長出席）の方々とレセプションが開催されました。



## 海士町で開催

# 全国離島振興協議会通常総会が開催

### 「生き残る離島同士の堅い結束」



溝口知事は「自立する交流の島づくりを基本理念に、昨年立ち上げた研究会で市町村とともに諸課題に向けて取り組んでいる。また、財政基盤の脆弱な離島においては、極めて重要な制度である現行の過疎法がH21年に期限切れとなるが、新しい過疎法に向けて今後も医療問題や産業振興について取り組んでいきたい」と述べました。

全国離島振興協議会通常総会が6月7日（木）にマリナーズホテル海士を会場に開催されました。総会には全国の離島関係市町村長等71名の会員と自由民主党離島振興委員会委員長仲村正治衆議院議員、溝口善兵衛島根県知事他多数の来賓のご臨席のもと、総勢100名を超える参加者により、離島を取り巻く諸課題について審議がなされました。

総会では、離島共通の課題である航路維持を重点課題として取り上げ、離島における航路補助制度の拡充を求める決議がなされました。また、竹島の領有権の早期確立、市町村財政支援対策の堅持、医療従事者の確保等の決議内容を要望書にまとめ国へ提出することとなりました。

# 30周年 ふるさと海士に思いを馳せ 関東海士後鳥羽会総会盛大に!

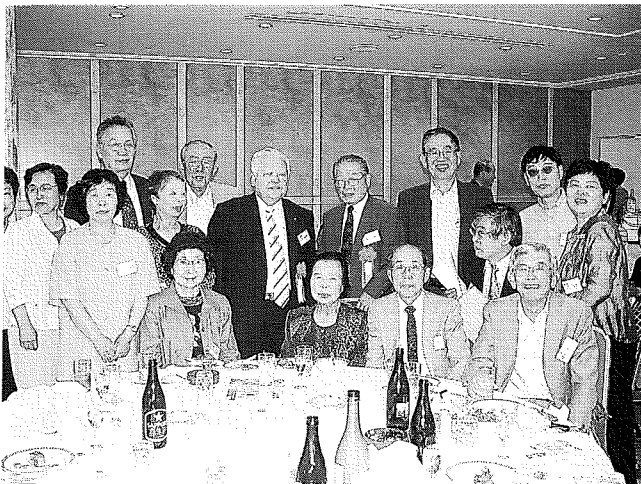


乾杯の音頭をとる亀谷議長

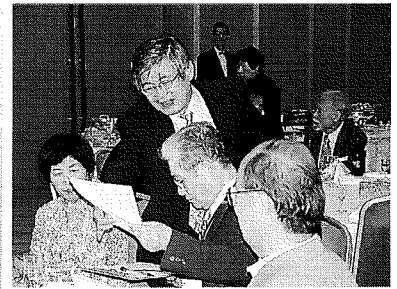
第30回関東海士後鳥羽会総会が6月17日(日)東京グランドパレスで行われました。関東海士後鳥羽会は、昭和53年の発足以来、今年で30年を迎えました。この会は会員相互の親睦を図り郷土の発展に寄与しようという目的をもって結成されています。

現在では、360余名の会員からなりました。当日は関東圏域から78名余り(内地元から20名)の方が参加されました。また来賓として、飯塚敏夫島根県人会会長、町長、議長。区長等、他海士町関係者の他、多くの参加者がありました。30回に相応しい盛大な総会となりました。

懇親会では、アトラクションが行われ地元から白浪会の皆さんによる郷土民謡の数々や有志によるカラオケが披露され、和やかな雰囲気になりました。会場は最高潮に。アトラクションの最後は郷土民謡『キンニヤモニヤ』と『盆踊り』で締めくくられ、また来年もあわくじゃ!“と声をかけながらふるさとへの熱い想いと尽きることない昔話にあっという間に時が経ち、記念すべき30周年がなごりおしくも盛会に終わりました。



ご尽力いただいた石倉良和会長様



中央後ろ事務局の古谷修一様

## 後鳥羽会総会

白浪会7名が今回の記念総会に駆けつけ華々しく賑わせて下さいました。パワー溢れる舞と素晴らしい演出に拍手喝采でした。祝いには欠かせない即興の“よいよい”にも快くご協力下さいまして有難うございました。



今、噂の隠岐牛の試食があり大好評でした。皆さん声を揃えて「さっぱりしてておいしい!という感想でした。今後とも隠岐牛をよろしく願います!



# ～ 平成18年度 財政状況の公表 ～

『海士町財政状況の公表に関する条例』の規定により、平成18年度における一般会計の財政状況を、次のとおりお知らせします。町民の皆様方に町の財政がどのように運営されているのか、またどのような状況にあるのかを広く知っていただくため、年2回(7月と11月)財政状況を公表することとなっております。

## 1. 予算の執行状況

### 【歳入】

(単位:千円)

項 別	予算現額 (A)	収入済額 4月～9月 (B)	収入済額 10月～3月 (C)	収入済額 累 計 (D)	収入率 (%)		
					B/A	C/A	D/A
町税	178,779	95,051	84,755	179,806	53.2	47.4	100.6
地方譲与税	44,738	16,919	27,819	44,738	37.8	62.2	100.0
利子割交付金	905	415	490	905	45.9	54.1	100.0
配当割交付金	554	236	318	554	42.6	57.4	100.0
株式等譲渡所得割交付金	438	1	437	438	0.2	99.8	100.0
地方消費税交付金	23,365	13,625	9,740	23,365	58.3	41.7	100.0
自動車取得税交付金	7,849	2,310	5,539	7,849	29.4	70.6	100.0
地方特例交付金	3,905	3,905	0	3,905	100.0	0.0	100.0
地方交付税	2,089,964	1,405,557	684,407	2,089,964	67.3	32.7	100.0
交通安全対策特別交付金	1	0	0		0.0	0.0	0.0
分担金及び負担金	67,329	16,411	48,942	65,353	24.4	72.7	97.1
使用料及び手数料	58,392	23,725	34,089	57,814	40.6	58.4	99.0
国庫支出金	517,106	8,195	408,574	416,769	1.6	79.0	80.6
県支出金	227,796	47,298	181,319	228,617	20.8	79.6	100.4
財産収入	13,494	6,182	5,496	11,678	45.8	40.7	86.5
寄付金	13,000	1,000	12,000	13,000	7.7	92.3	100.0
繰入金	56,116		56,120	56,120	0.0	100.0	100.0
繰越金	14,872	14,872	0	14,872	100.0	0.0	100.0
諸収入	52,973	5,441	46,779	52,220	10.3	88.3	98.6
町債	987,600	8,900	909,000	917,900	0.9	92.0	92.9
歳入合計	4,359,176	1,670,043	2,515,824	4,185,867	38.3	57.7	96.0

### 【歳出】

(単位:千円)

項 別	予算現額 (A)	支出済額 4月～9月 (B)	支出済額 10月～3月 (C)	支出済額 累 計 (D)	執行率 (%)		
					B/A	C/A	D/A
議会費	33,486	16,903	16,563	33,466	50.5	49.5	99.9
総務費	756,415	210,191	539,748	749,939	27.8	71.4	99.1
民生費	524,130	165,335	358,407	523,742	31.5	68.4	99.9
衛生費	307,554	217,554	76,505	294,059	70.7	24.9	95.6
労働費	45	5	40	45	11.1	88.9	100.0
農林水産業費	745,977	158,856	453,812	612,668	21.3	60.8	82.1
商工費	131,774	59,596	70,347	129,943	45.2	53.4	98.6
土木費	246,959	48,789	194,956	243,745	19.8	78.9	98.7
消防費	93,911	46,369	46,252	92,621	49.4	49.3	98.6
教育費	145,498	70,842	67,944	138,786	48.7	46.7	95.4
災害復旧費	109,570	0	68,769	68,769	0.0	62.8	62.8
公債費	1,258,198	583,874	674,321	1,258,195	46.4	53.6	100.0
諸支出金	3,438	400	2,784	3,184	11.6	81.0	92.6
予備費	2,221	0	0	0	0.0	0.0	0.0
歳出合計	4,359,176	1,578,714	2,570,448	4,149,162	36.2	59.0	95.2

## 2. 財産、地方債の現在高(平成18年度末)

## 【財産】

○土地及び建物 (単位:m<sup>2</sup>)

区 分	面 積
土地	1,399,935.22
建物	87,142.29

○有価証券 (単位:円)

名 称	金 額
株券(隠岐汽船)	16,425,000
株券(山陰中央新報社)	150,000

○基金の状況 (単位:円)

名 称	現 在 高
財政調整基金	20,691,578
減債基金	322,934,240
ふるさと創生基金	23,720,599
町史編纂基金	3,901,010
土地開発基金	64,438,133
人材育成基金	54,034,128
福祉基金	126,299,923
水と土保全基金	6,288,560
中山間地域活性化推進基金	29,266,840
合 計	651,575,011

## 【財政調整基金】

災害復旧、地方債の繰上償還  
その他財源不足を生じたとき  
の財源を積み立てるための基  
金

## 【減債基金】

地方債の償還財源を確保し、  
地方債の適正な管理を行い、  
財政の健全な運営に資するた  
めに積み立てる基金

## 【福祉基金】

高齢者保健福祉の増進を図る  
ため積み立てる基金

## 【地方債の現在高】

○地方債

(単位:円)

借入先	現 在 高	前年度末現在高	差 引
政府資金	7,524,764,971	7,665,382,791	△ 140,617,820
公営企業金融公庫	266,224,316	292,408,775	△ 26,184,459
銀行	85,006,000	92,232,000	△ 7,226,000
その他の金融機関	565,877,597	499,771,748	66,105,849
その他	299,615,421	330,417,613	△ 30,802,192
合 計	8,741,488,305	8,880,212,927	△ 138,724,622

## 3. 住民の負担の概況(税金)

(単位:円)

税 金	予 算 額	4月～9月收入額	10月～3月收入額	総収入額	一人あたり負担額
町民税(個人)	64,012,000	24,873,130	40,135,150	65,008,280	26,599
町民税(法人)	8,149,000	4,175,100	3,973,900	8,149,000	232,829
固定資産税	84,530,000	53,285,851	31,188,892	84,474,743	34,564
軽自動車税	6,327,000	6,354,400	58,200	6,412,600	2,624
たばこ税	15,761,000	6,362,454	9,399,233	15,761,687	6,449
合 計	178,779,000	95,050,935	84,755,375	179,806,310	303,065

※一人あたりの負担額

町民税(法人)は、5月31日現在の事業所数で単純に除した金額(35事業所)

町民税(法人)以外の税金は、5月31日現在の人口で除した金額(2,444人)

町では、限られた財源を、最小の経費で最大の効果を上げるよう創意工夫し、効率的、計画的に予算  
を執行しています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

※前頁の 1. 予算の執行状況の歳入のうち国庫支出金と町債、歳出のうち農林水産業費と災害復旧費は、  
それぞれ事業費とその財源として、翌年度へ一部繰り越すため、収入率、執行率ともに低くなっています。

# 金メダルで初勝利！ チャレンジデー

やってみよう\*あなたの一步がみんなの一步！



クロリティーにチャレンジ！ 狙いを定めて～“そーれ”

心配した天候も晴れ間をみせ。心地よいウォーキングを楽しむ中里地区の皆さん

5月30日恒例となったチャレンジデーに町を挙げて参加しました。今年は『やってみようあなたの一步がみんなの一步』をテーマに各地区の公民館長さんを中心に実行委員会を結成し、地域、職場、団体、仲間同士が取り組みました。

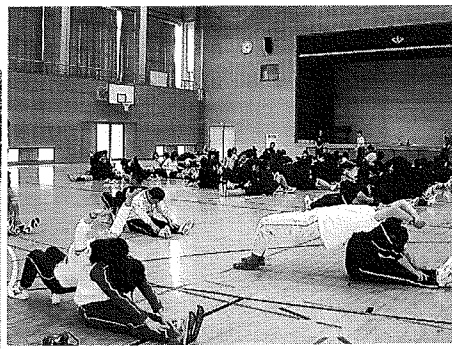
今年の対戦相手は北海道苫前町（人口3,995人 参加率66・1%）で海士町の参加者1,761人で参加率は昨年を1%上まわる71・4%と4年目にして初の勝利を挙げ、また、金メダルを獲得することができました。

参加にあたっては各地区単位で趣向を凝らしウォーキング、クロリティー、ペタンク等々が行われ、その取り組みはさまざまです。

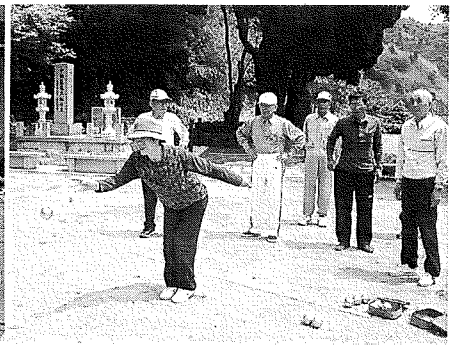
自らの健康に配慮し、地域の中でのコミュニケーションの場として活用するなど『チャレンジデー』の取り組みは地域づくりの原点とも言えます。ともあれ年々健康志向が高まる中、このチャレンジデーの参加者が益々増える事を来年も期待します。



海士小全校でリレー



島前高校も皆でエアロビクス



ペタンクで一汗かく崎の皆さん

## 第十二回

### キンニャモニャ祭りのお知らせ



地域に夢と自信と

誇りをつくろう！

キン祭輝く歴史と文化・

キンニャモニャ祭り、のく

人の声がる海士町

【期 日】

平成19年8月25日（土）

【場 所】

菱浦キンニャモニャセン

ター周辺

### キンニャモニャパレード

参加募集中！

◆くじ引き大会や花火大会  
出店など楽しい催しがた  
くさんあります。

◆詳しくは、キンニャモニャ  
祭り実行委員会（海士町  
商工会内）

TEL(08514)20376  
まで

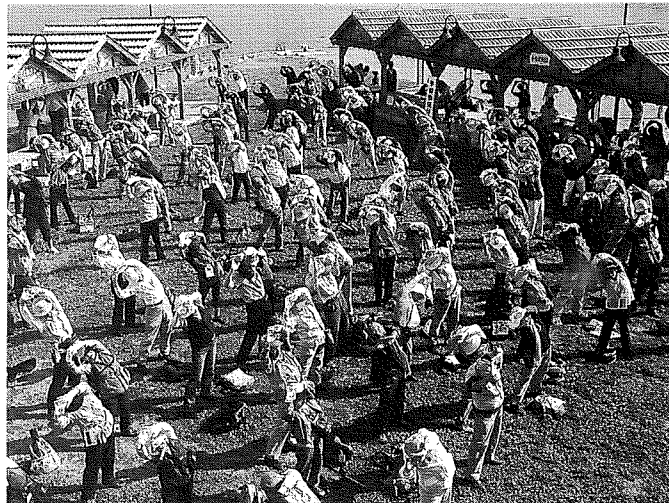
第5回

# とって隠岐スリーデーウォーク

## 潮風に吹かれ 海士路を満喫!

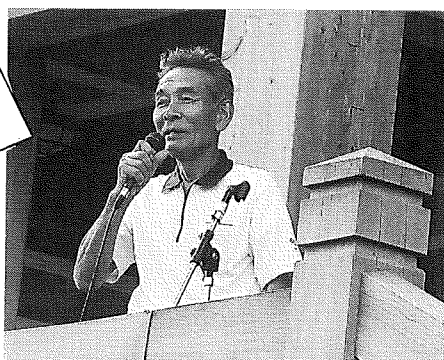


隠岐神社を分岐点に 23 kmコースと 30 kmコースに分かれます。



ストレッチをして身体をほぐし出発に備える参加者たち

とって隠岐ウォークの生みの親である渡辺恵さんに『とって隠岐スリーデーウォーク実行委員会』から感謝状が送られました。



今年もスリーデーウォークが 日本ウォーキング協会ととって隠岐スリーデーウォーク実行委員会主催により6月2日、3日、4日の3日間にわたり島前三島と島後で開催されました。昨年までは、ツーデーウォークとして行われましたが、今年さらには島後でのコースが加わり参加も全国から360名余りとなり、島巡りウォークをそれぞれのコース(23 km・30 km)に分かれて楽しみました。初日は、朝早くからキン



休憩所では「今年もこれ! 「まき」が出るのを楽しみにしていたよ」と声を上げるウォーカー達。ボランティアの皆さんありがとうございます。

ニヤモニヤセンター前の広場に出発を待つ皆さんの参加者で賑わいました。一方、町では健康づくりの推進を図るためこの日「歩こう大会」を計画し、地元から30名余りの参加者も加わりました。このイベントに際しては、たくさんボランティアの協力があり、ウォーカーの皆さんから好評を得ています。町内3ヶ所の休憩所では、地元ならではの海士乃塩で漬けた「漬物」や「まき」「フルーツポンチ」の提供があ



海士路を制覇! 次は知夫里島へと移動。そして、西ノ島、島後の島へと3泊4日のウォーキングとなります。



り、「これはどうやって作るのですか?」「この葉の名前は?」「今年もこれ期待してたのよ」等々そこから始まる会話に交流の深まりを感じた一時でもありました。『来年もまたくるよお』の言葉に来年もまた町内はももちろん島外からのたくさん参加者を期待したいところです。

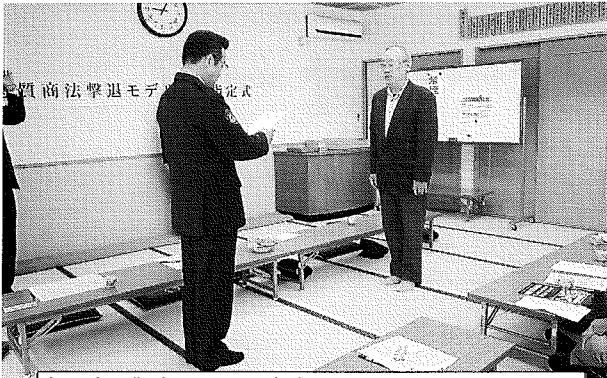
# 北分地区「悪質商法」被害ゼロを目指して！ 〜悪質商法撃退モデル地区に指定〜

隠岐島前地区では、悪質商法に関する相談が、毎年、来島者が増える夏期に増加する傾向にあり、そこで、夏を迎える前に、悪質商法排除の気運を高めることを目的に、海士町北分地区を『悪質商法撃退モデル地区』に指定し、5月24日に北分公民館で指定式を開催しました。

指定式終了後、北分地区の皆さんに、最近の悪質商法の手口や被害防止対策等についての講習会を行い、受講者には『悪質商法被害防止講習済証』を交付しました。

浦郷警察署では、悪質商法等による被害ゼロを目指し、被害防止活動を推進していきますので、町民の皆様のご協力をお願いします。

(浦郷警察署)



森岡浦郷警察署長から大森区長へ指定書が手渡される



悪質商法撃退モデル地区指定式



## 海士町連合婦人会

### 〜まちの振興 活性化に一役を〜

5月20日、菱浦の体験工房施設とマリンプォートホテル海士を会場に総会と会員の集いを開催しました。

当日は、北分、宇受賀、崎地区の会員と個人会員の計40名余りの会員が集まり大いに盛り上がった会となりました。この日は、昨年9月にオープンしたキンニヤモニヤセンター前の体験工房

社会福祉協議会では「おだいっさん(お大師さん)」の四季にデイサービスを利用されている方やひまわり住居に入居されている方と「おだいっさん」をお参りしていただきます。

今年3月、利用者の皆さんが「こうして長生きさせてもらって、本当にうれしいことだがお。感謝の意を込めて、おだいっさん(お大師さん)に前掛けを作ってあげようよ」と話が盛り上がりました。その日から利用者の皆さんによる前掛け作りがはじま

り、ひと針、ひと針、心を込めて合計90枚の前掛けができ上がりました。当日、初夏を思わせる陽気のもと前掛けを持ってお参りに出かけました。長生きさせてもらっていることのお礼とお願いをしながら、『おだいっさん』に自分たちが作った前掛けをかけた。にっこり笑った『おだいっさん』に囲まれながら、地区の接待を受けとても嬉しい一日となりました。

(海士町社会福祉協議会)

で陶板づくりやキンニヤモニヤ人形づくりを体験し、会員皆真剣な面持ちで制作活動に取り組みました。この制作にあたっては、指導者の勇木史紀氏をはじめたくさんの指導者の方々に大変お世話になりました。この施設が今後さらに話になり熱くお礼申し上げます。この施設が今後さらに話になり熱くお礼申し上げます。

町民や訪れた人達との文化活動施設として活用できるように婦人会としてもPRしていきたいと思えます。

また、総会の会場をマリンプォート海士に移して行い会

長から「自分達が楽しみながら自己を高め、お互いにふれあいを深める活動を通して海士町の振興活性化に貢献できる婦人会でありたい。」と会員に投げかけました。

続いて18年度事業報告、決算報告、19年度事業計画および予算を審議した後、昼食会をするなど親睦を深め有意義な一時となりました。

今年も婦人会会員みなパワー全開で頑張ります！  
(会長 上田正子)



ヒュー・プリステン先生の  
外国人の新鮮な目で海士を見て  
フレッシュ・アイズ・オン・あま Vol.11



今回の記事は私の最後なんです。初めて海士に来たのは、平成17年の8月ですので、2年間が立ちました。早かったな。始めから、海士はすごくいい所だと思いました。海士に到着してすぐにキャンプに参加して、海士の事がすぐ分かって来ました。海士はきれいで、食べ物がおいしくて、空気がきれい、人々が面白くて優しいです。海士は小さい島ですから、生き残るために未来的なプランで頑張らないといけないですね。みんなが頑張っているのがよくわかります。それから、キンニャモニャの祭りが好きです。私は暇なとき、よく陶芸をやっています、トレーニングも頑張っていました。いろんな経験をしました。

ところで、私は13歳からアルバイトをやり初めて、ず

つと中学、高校、大学を自分のお金で行き、自立して頑張っていました。大学生の時、私の日本語はうまくなかったけど、日本の事に興味があったので、留学を希望しました。そして、自分のお金を出して、大阪に行きました。もちろん、楽しい時もあつたけど、寂しい時もありました。外国で旅行、勉強、住むことは大変ですけど、すごくいい経験ができます。外国に行くと、他の考え方を知る事できるし、世界の広さが実感として分かります。自分の自身にチャレンジをし、自分の地元の話がもつと分かって来ます。だから、私はいろんな所に行ってみたいです。

教育委員会や仲良くできた海士人々に本当に感謝しています。海士の事を忘れない、また遊びに来ます。次のALTの人もよろしくお願ひします。どうもありがとうございます。

※日本人が日本語で書いたのを、そのまま載せています。

海の生態系を守る

菱浦湾海底清掃・調査



漁具、タイヤ等々総重量1,260 kgのゴミ。

これ以上ゴミを増やさない！  
増やさせない！

5月26日海士ダイビングセンター主催で4回目海底清掃およびその調査をおこないました。今回も菱浦湾内の目に付くゴミの徹底した除去やアワビやサザエ等を食い荒らすヒトデの駆除に加え、湾内の様子の経過を見るための潜水調査です。その様子を皆様にお知らせします。

海中状況

前回に比べ、海中の状況は良くなつて来てはいるが、空きカンやバッテリー、漁網、ロープ、カメ、鉢、自転車等に加え、調理器具(鍋)、大量のガラス、食器類など、また、生ゴミ(サザエ、カキ、ウニ

等の殻)、等も確認した。海中状況として、海況も良く、今までの成

果なのか、湾内の生物も少しずつ増えている。また、海中の透明度、透視度、共に良くなっている。しかし、沖合の海底にはヘドロが未だ堆積しており、やはり湾の内側に行くほど、港湾内の汚染が進行していることがうかがわれる。「これ以上ゴミを増やさない！増やさせない！」といった、我々の気持ちをこめたメッセージでもある。

総括

ここで我々は、「誰が捨てた！？」といった、犯人探しをしたのではなく、「この活動を、見て、知って、参加する」事により、海士の産業・観光資源である海を守って行きたいのです。

この度は、菱浦区長さんを初め、地域住民の方々にも、

ご協力頂き、海をきれいにする活動に協力して頂いただけではなく、我々の活動にご理解頂いた事は、大きな進歩だと思えます。この先はさらにゴミが減少していくと期待しています。

これからの展望

今までは、海士の窓口である、菱浦湾を起点に活動を続けてきたわけですが、『海士の海はきれい？本当に？』『自分の子ども、孫の代まで変わらずにいられるのか？』『海の生態系を壊してしまつてはいないのか？』を三本の柱として、他の地域にも活動の輪を広げて行きたいと思つています。また、海士の海を気にいつてくれている、島外のダイバー等にも参加していただき、島外にも活動の拡大を計画しています。

最後になりましたが、ご協力して頂いた方々に心よりお礼申し上げます。

松島ダイビング推進協議会

事務局

海士ダイビングサービス

城之内直也

社会福祉法人  
慶照学園

# けいしょう保育園竣工

質の高いサービスの提供を！



5月13日竣工を祝う保護者や関係者の皆さん

今日の多様な保育ニーズへの対応と施設運営の合理化を目指した統合施設が装いも新たに竣工し、4月より開園致しました。学園にとつては地域の子育てセンター的役割を担う施設として歴史的出発であり、責務の重さに身の引き締まる思いを新たに致しております。一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本学園の歴史を顧みますとその生みの親であります西明寺住職、故小出大信上人が、今より75年前の昭和7年に寺院の庫裡を開放して農繁期季節託児所護国遊園を開

設されたのがそもそもの出発でございます。

爾来ひたすら子どもたちの幸せと健やかな育成を目指して歩み続けられ、戦後は新しく制定された児童福祉法に基づき、昭和26年に保育所の設置認可を受けて寺院上段に保育所を設置し名称を慶照山西明寺の山号をとつて慶照保育所と称し保育事業の推進に大きく前進いたしました。しかしながら、戦後の高度成長期における国の諸施策が激動する中での施設運営の安定化、更に機能の充実強化を目指し、昭和40年に多年の懸案であった社会福祉法人の設置認可を受け、法人の名称を社会福祉法人慶照保育所と称し、早速施設整備等の事業に着手いたしました。昭和42年度事業にて施設の新築、移転を行い、

更には昭和47年度事業において福井校下地区に第二慶照保育園を新設して、法人の名称を慶照学園と改め、幾多の変遷をたどりながら迎えました

今日、社会環境は大きく変貌し少子、高齢化が進行する中、保育ニーズは多様化の一途を辿つて参りました。多様な保育ニーズに対応し、質の高い「サービス」を提供するのが保育所の使命と承知致しながらも、施設の老朽化は機能の劣化が著しく、寄せられるニーズに即応することが困難となつて参りました。

これらの課題に向け施設設備の充実、機能の強化を図るに当たり国並びに県所管のご賢察を賜り特に町ご当局的深いご理解とご英断によりここに新しい機能を備えた園舎の竣工に至つたのでございます。新事業の一端をご紹介します。

社会福祉法人慶照学園

理事長 協谷英孝



在宅の親子と共に絵本の読み聞かせをする子育て支援センターの一場面

## 特別保育支援事業の紹介

希望により利用できます。

- ◆病後児保育・・・病気の回復期にある園児が病後児保育室でゆったり過ごし、体力の早期回復を支援します。
- ◆延長保育・・・保護者の勤務の都合により、午後7時まで保育いたします。
- ◆一時保育・・・保育園に入所していないお子さんがおられる家庭において、保護者の傷病、入院、冠婚葬祭で育児ができないご家庭を支援します。
- ◆土曜保育・・・園児の保護者が土曜日の午後、両親共に勤務される日、また、傷病、入院、冠婚葬祭で育児が出来ない場合、一日保育を致します。
- ◆子育て支援センター

地域の子育ての核として子育て家庭、妊婦の方等を対象に様々な支援を行います。地域の皆様とのふれあいを大切にしていますので子育てを終えた方、サークル仲間、里帰りの方は是非ご利用下さい。

☆お問い合わせ先 けいしょう保育園 TEL 08514-2-0540 または 08514-2-0808

### 皆様の年金記録は

いつでも確認できます

社会保険庁では、ご本人の年金記録の確認に迅速に対応できるように専用の年金相談窓口を設置しています。

複数の制度の加入歴のある方や改姓された方など、年金加入記録に不安や疑問がある方は、社会保険庁にご相談ください。

ご相談の際は、年金手帳、基礎年金番号通知書、年金証書のいずれかをご用意ください。なお、年金手帳等が見当たらない場合は、本人であることが確認できるもの(運転免許証、保険証)をご用意

## 75歳以上の方の高齢者医療制度が新しくなります!

平成20年4月1日から「後期高齢者医療制度」が始まります。

ください。代理人の方がお越しになる場合は、「依頼状」と代理人の方の本人確認ができるものが必要です。お問い合わせについては、次のとおりです。

#### ●松江社会保険事務所

TEL 0852-23-9542

#### ▼「ねんきんダイヤル」

TEL 0570-05-1165

#### ▼「フリーダイヤル」

TEL 0120-657830

#### ▼インターネットのID・パスワード方式による年金加入履歴の取得をご利用下さい。

(<http://www.sia.go.jp>)

平成20年4月から、現在の老人保健制度が「後期高齢者医療制度」に変わります。75歳以上の高齢者(後期高齢者)等の方は、現在加入されている国民健康保険や社会保険から離れ、この独立した「後期高齢者医療制度」に加入することになります。この新しい医療保険制度の運営主体(保険者)として、島内全市町村が加入する「島

根県後期高齢者医療広域連合」が設立されました。

### 後期高齢者医療制度の概要

今までは、75歳以上の方(寝たきり等の65歳以上の方を含む)は、国民健康保険等に加入しながら、「老人保健制度」で各種医療サービスを受けていました。平成20年4月からは、新しい「後期高齢者医療制度」において、同様のサービスを受けることになっております。

#### ◆お問い合わせ先

・島根県後期高齢者

医療広域連合

〒690-0887

島根県松江市殿町8番地3

(島根県市町村

振興センター3階)

TEL 0852-20-2236

(代表)

FAX 0852-21-5551

・海士町役場生活環境課

TEL 08514-2-0858

(直通)

#### 後期高齢者医療制度のポイント

- ① 被保険者…島根県内にお住まいの75歳以上の方(一定の障害の状態であると広域連合で認定した65歳以上の方を含む)となります。
- ② 保険証…これまでの老人医療受給者証に変わり、広域連合が交付する「後期高齢者医療被保険者証」を病院等に提示することになります。
- ③ 病院等での窓口負担…一般の方は1割、現役並み所得者は3割となります。
- ④ 保険料…原則として、島根県内で均一の保険料とします。納付方法は、基本的に年金からの引き取り(特別徴収)となります。
- ⑤ 医療給付…現行の老人保健制度と同様の医療サービス等を行いません。
- ⑥ 運営主体…都道府県ごとに設立される「後期高齢者医療広域連合」が運営します。
- ⑦ 財政運営…被保険者からの「保険料」が1割、国保・社会保険等からの現役世代の「支援金」が約4割、国・都道府県・市町村からの「公費」が約5割の費用負担で運営されます。

#### 住宅のバリアフリー改修に伴う家屋の固定資産税の減額措置が創設されました

平成19年4月1日から平成22年3月31日までの間に、一定のバリアフリー改修工事が行われた住宅について、家屋の固定資産税が減額されます。

#### 1 対象

##### 【居住者要件】

次のいずれかの方が居住する既存の住宅であること(賃貸住宅は除く)。

- ① 65歳以上の方
- ② 介護認定又は要支援認定を受けている方
- ③ 障害者の方

##### 【対象となるバリアフリー改修工事】

次の工事で、補助金等を除く自己負担額が30万円以上のもの

- ① 廊下拡幅・階段勾配緩和
- ② 浴室・トイレの改良
- ③ 手すり取付・床の段差解消  
引戸への取替・床の滑止化

#### 2 減額内容

改修を行った住宅について、工事完了時の翌年度の当該家屋の固定資産税の三分の一が減額されます。

\*一戸あたり100平方メートル相当分までが限度となります。

#### 3 申請方法

減額を受けようとする対象住宅の所有者は、改修後3ヶ月以内に、工事明細書、領収書等を添えて役場生活環境課まで申請してください。

# 議会だより

就任のごあいさつ

## 信頼される議会を目指して



議長 亀谷 潔

議案提出権が認められるなど、分権時代に対応した議会の活性化や、その機能強化が強く求められております。

一方、町村を取り巻く環境は一層厳しさを増し、町村の意思決定機関である議会の役割は、益々大きくなっていきます。

このような中、私は積極的な情報公開、透明性のある議会、住民との意見交換等を通じて、皆様方から信頼される議会を目指して全身全霊を傾けて参る所存であります。

町においては、自立促進プランの下、人づくり、モノづくり、健康づくりを基本に徹底した行財政改革と定住人口施策が着実に成果を上げつつ、積極的な新産業の創出で

「海士町再生」を掲げ、生き残りを賭け、さまざまな事業

を展開し挑戦しているところ  
であります。

ときは地方分権のまった  
中、自分たちの町は自分たち  
で築いていかなければ沈没し  
てしまいます。国に於いても  
我が海士町が自立して、小規  
模町村の範になることを期待  
しています。

しかしながら本町の財政基  
盤は大変脆弱で先々の不安を  
抱える中、住民の最終意思決  
定機関は議会であることを今  
一度自覚し、今こそ議会と執  
行部がそれぞれの立場を充分  
尊重しあい、車の両輪のごと  
く、本町の明るい展望と住民  
の福祉の向上を目指し最善を  
尽くす覚悟でございます。

皆様のご支援、ご協力とご  
鞭撻を賜りますようお願い申  
し上げ、就任のご挨拶と致し  
ます。

## 各常任委員会

### ▼総務厚生常任委員会

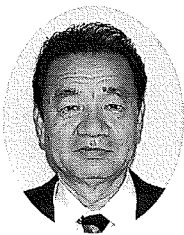
総務課、財政課、生活環境課、健康福祉課、診療所、教育委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項について、審査・調査します。

### ▼産業建設常任委員会

交流促進課、地産地商課、産業創出課、建設課、農業委員会の所管に属する事項について、審査・調査します。



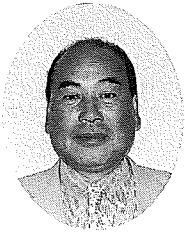
委員 亀谷 潔



委員 波多 紀昭



委員 中村 等光



副委員長 寺下 雅人



委員長 上田 正子



委員 花岡 美近



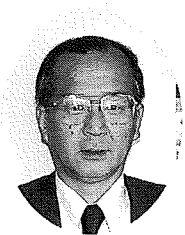
委員 松田 修一



委員 柏原 廣行



副委員長 仁田 收



委員長 古濱 正之



# 5月臨時会

平成19年度第456回5月臨時会が5月11日に招集開催されました。

上程された議案は、  
①平成19年度海士町一般会計補正予算(第1号)

②海士町過疎地域自立促進計画の変更

の2案件で町長及び副町長から提案理由の説明が行われ補正予算案については、(株)ふるさと海士に対する出資金を1億5千5百万円増額する内容であり、詳細については全員協議会で審議しました。

主な審議内容は、本年2月に実施された、中小企業診断士による(株)ふるさと海士の経営診断報告書に基づいて作成された経営改善策の各項目ごとに慎重審議を行った後、本会議を再開し、原案どおり可決されました。

なお、設立時の資本金(町

出資分9千万円)は、過疎債で充当しているため、支援策についても、国、県との協議の結果、過疎債等による1億5千5百万円の増資(追加)が認められる方向であり、増資の方法については株主割当を行いたいが、町以外に引き受け手がないと判断され、全額を町で手当てする予算措置を講じました。

また、議会としては、提案された経営改善策5項目・向う4年間の経営計画については、進捗状況・目標達成状況等を慎重に注意深く見守って行きます。

過疎地域自立促進計画の変更に関しましては、既存計画に計上されていなかった(株)ふるさと海士への出資金(増資)を追加し、また、空き家活用助成事業と小規模作業所さくらの家建築事業の計画変更であり空き家リニューアル10戸と過疎地域集落再編整備事業5戸への変更が承認されました。

## 議員報酬カット期間延長

5月1日の臨時議会(初議会)において、町の厳しい財政状況を踏まえ平成19年5月から平成23年4月までの報酬カットを議員提案で可決しました。

## 隠岐広域連合議会報告

隠岐広域連合議会(構成団体選出議員数は定数14人、島根県2人・隠岐の島町6人・海士町2人・西ノ島町2人・知夫村2人)は、第2回定例会が5月30日、第4回臨時会が6月15日開催されました。その主な内容をご報告します。

①「第2回定例会」は、一般選挙後の初議会。議会人事の構成についての議長選挙、常任委員、特別委員等の選任が行われ、議長に隠岐の島町選出の池田信博氏、副議長に知夫村選出の口村善澄氏を選任。一般質問1件、提出された議案は、同意1案件・承認2案件・補正予算等4案件、

いずれも原案どおり可決。

②「第4回臨時会」は、隠岐病院の産婦人科医1名体制に伴い、低リスクの分娩は同病院でも可能なものの、約8割の妊婦が本土出産のため、その支援策として、当連合が所有するホテル「レインボープラザ」の4階の5部屋を宿泊部屋に改築。その事業費2千5百50万円(厚生労働省の補助事業を活用、国、県、広域連合負担割合3分の1)の増額補正。介護保険事業予算で被保険者の移動に伴う、還付金2百万円を増額補正する2件を可決。

また、広域連合会から隠岐病院整備方針検討会議へ諮問していた同病院の整備に関する基本構想についての(本年5月25日受理)答弁書および隠岐島前病院の医薬分業の導入についての報告がありました。

波多紀昭

## 編集後期

中国地方は例年より遅い梅雨入り、カラ梅雨模様でしたが昨日からの雨は、農作物にとっては恵の雨となりました。

住民の皆様方に信頼される議会、議会の更なる活性化等尚一層の改革が求められ、今後の動向についての期待の大きさを改めて痛感しています。

本会議以外の各委員会の傍聴の検討や、議会広報の内容の充実に向けて、6月定例会に於いて広報特別委員会設置の提案を予定しております。

今後の検討課題として、各地区での出前議会を通じて地域住民の皆様方との意見交換等活性化に向けた取り組みを行い皆様方の期待にお応えしたいと考えております。

文責 松田修一



# 人間力推進PJの取り組み

持続可能な地域社会の形成を目指し、未来を支える人づくりを推進します！

## ◆今年度の主なテーマ◆

- ・島前高校の更なる魅力化
- ・若者の活動支援
- ・女性の活動支援
- ・出郷者との協働

平成17年度から進めてきた人間力推進プロジェクト(以下「人間力PJ」)も、今年度で3年目に入りました。

人間力PJは、人間力を高めながら諸問題を解決し、海士町が永遠に存続するためのプロジェクトを展開していくことを目指しています。

今、海士町は少子・高齢化問題を抱えており、町の存続が危ぶまれています。その具体的な例として島前高校の存続問題があります。

人間力PJは、島前高校や

西ノ島町、知夫村、並びに島根県と連携し、小規模校の強みを活かし、更なる魅力アップに向け全力で取り組みます。その他「若者の活動支援」、「女性の活動支援」、「出郷者との協働」をテーマに掲げ、それぞれチームを編成して具体策を検討します。

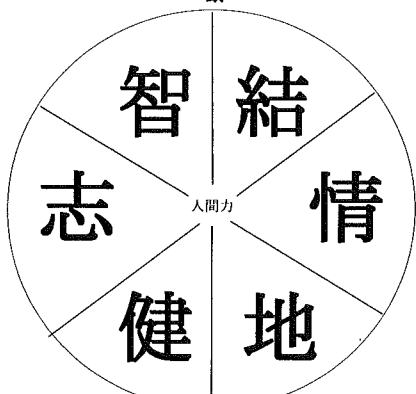


## 人間力って何?

本年を「未来を支える人づくり元年」として教育に力を入れるにあたり、「海士町としてはどういった人間を育成するのか?」「保育園く高校の連携教育の中で目指す姿を明らかにして欲しい。」といった要望や、住民から「人間力って何?」という率直な疑問の声を頂きました。

そこで、町内の保育園から高校までの教育関係者、保護者、地域の方々、町外の大学教授や有識者など計60名ほどの協力を得て、海士町の人づくりの指針となる「人間力」を定義しました。

少子高齢化、国際化、情報化、価値観の多様化など、激しい変化の中で、今後訪れる社会にどういった人間力が求められてくるのか、「海士人」のもとと持つている良さや強みは何かという議論をし、海士町が今後も持続していくためにはどういった力を育成する必要があるのか、ということを考え、浮かび上がったのが次の6つのキーワードです。



① 人と人とを結ぶコミュニケーションの力『結(ゆい)』。

② あらゆることから学び、新たな価値を創造する思考の力『智(ち)』力。

③ 自ら動きコトを為していく意志の力。士(さむらい)の心と書いて『志(し)』。

④ つながりあるものを慈しむ思いやりの心。清き心と書いて『情(じょう)』。

⑤ 地下(じげ)の文化を継承し、大地(自然)と共に生きる力、『地(じ)』力。

⑥ 健全な身体と健やかなる心。健康の『健(けん)』。

この『結』『智』『志』『情』『地』『健』の六つを総合した「持続可能な地域社会を創る力」を『人間力』と定義しました。この定義は適宜、見直しながらかも『人間力』を本町の地域・家庭・学校が目指す共通の指針として、連携しながら人づくりを進めていきたいと

思います。

また『人間力』の考え方を整理するために6つの要素をさらに16の力に具体化しております。これに関してまだまだ未定であり、今後住民の皆さんのご意見を頂き改善していきたいと考えていますので、お気づきの点などありましたらご連絡頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



※連絡先

0851412-1221

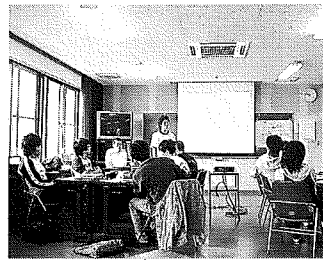
「人間力推進プロジェクト」

(隠岐開発総合センター内)

※次号からは、各テーマ毎に取り組み状況等を報告していきます。

### ファシリテーション 勉強会開催

！  
学 効率のよい会議の  
進め方・まとめ方



大学生の多い都会の少人数の勉強会。岩本さんと共に学び自己を高めようとした（開発センターにて）

#### 【参加者の感想】

去る5月3日から5日の三日間にわたり、教育委員会の

岩本さん、観光協会の青山さんを中心とした町内、町外から高校生、大学生、社会人と幅広い年齢の人を招き、ファシリテーション勉強会という会が開かれました。僕も高校生として参加させて頂きました。ファシリテーションとは、会議や話し合いなどを効率よく、スムーズに進めていく、司会進行役に必要な能力のことです。勉強会は三日間にわたり行われ、初日はファシリテーションとは何かなどの勉強。二日目は話し合いの上手な進め方、アイディアのまとめ方等

の技術的な面での勉強。三日目はとにかく数多く実践と反省を繰り返してファシリテーションの力を付けていきました。中学生の時、クラスの話し合いで司会をすることがよくありました。そのたびに、上手にまとめられないし反感をかっていくなあと思っていたので、勉強会に誘われた時は、これが出るようになればもっと自分を変えられる、この勉強会に参加して変わってやろうと思いました。

普段の父親との会話でも何で自分の意見しか言わずに人の意見を聞き入れないのだろうかと何気なく思っていたが、勉強会をやっていると、一方的に意見を言うだけの人が話に合いをすれば何時間あっても足りないんだと思いました。もしその中に、時間内に終わらせようと真剣に思う人と、人の話を聞いてまとめる力を持った進行の人が一人ずついるだけで話し合いはスムーズに進んでいくということに衝撃を受けました。

これからは、もっと多くの人にこういった勉強会に参加



キンチャモニャセンター「しゃん山」にて特産品を手に取り熱心に研究するメンバー

### NPO法人いえしま 海士町視察

島前高校一年 中川貴史

兵庫県姫路市家島町より「NPO法人いえしま」の方々が総勢12名、6月2日から1泊2日の日程で海士町に来島しました。

#### なぜ海士町に？

『西上ありさ』さんという方が今回の視察を計画しました。彼女は家島町のまちづくりコーディネーターとして、これまで6年間、家島町に入り込み地道にまちづくりを手伝い、家島町では彼女を知らない人はいないそうです。また、昨年11月のAMAWゴンで出前授業の講師を努め、生徒と一緒に海士町の本「あまほん」を作りました。

その時の交流が縁となり、元気な町、海士町を先進事例として、地元の素材を活かした海士町の取り組みについて視察することになりました。NPO法人いえしまのメンバーは40代〜60代のとてもパワーのある、そして一人ひとりがとても個性のある女性陣でした。

海士町からは地産地商課の後藤隆志さんや、隠岐自然村の深谷治さんが、自らの取り組みについて説明しました。説明後は積極的に質問が飛び交っていました。

#### 交流会では……



今回、参加した隠岐自然村深谷さんや地産地商課の後藤さんへ質問が飛び交い、いえしまの女性陣の皆さんのパワーを感じました。

地元家島の特産品の焼き穴子やたこの煮付け、いかなごの釘煮、すずきの味噌漬けを用意されており、皆で頂きました。特に焼き穴子は美味でした。お酒が入ると皆さん、更にパワーアップ。なんでも笑いに変わってしまう、とてもユニークで楽しい交流会でした。

NPO法人いえしまのメンバーは、『海士町が若い人と一緒に取り組んでいる姿勢を見習いたい、今後も島同士交流を続けていき、そして今度は家島に訪れてほしい。』と感想を述べていました。

また、地産地商課の後藤さんは「元気な人が集まればアクションがおき、そしてあのパワーが何よりの武器ですね。」と話していました。

講演会開催

APEC大使

マイケル・マハラツク氏来町

テーマ「志を高く、チャンスは誰にでもある！」



マイケル氏前列中央を囲んで(海士中にて)

アメリカ国務省でアジア太平洋経済協力会議(APEC)を担当するアメリカ大使マイケル・マハラツク氏が来町し、5月31日から2日間にわたり、島前高校をはじめ海士中学校、福井小学校で講演を行いました。

内容は、「志を高く、チャンスは誰にもある」と題し、①「英語をしっかりと学びなさい」、②「外国に出かけて視野を広げなさい」、③「議論する能力を身につけなさい」、と3つのアドバイスをいただきました。

「子どもたちの感想」 「僕は、マイケル氏の話聞いて、色々なことに挑戦してみようと思いました。」 「マイケルさんの講演は、おもしろみがあって、聞く側を惹きつける話し方だった。自分自信にも生徒会にも刺激を与えた。この講演会で学んだことを将来に役立てたい。」 「自分の考えを持って、表現力を付けることなど、生徒会に生かしていきます。」 など (海士中学校生徒感想)

子どもたちにとって、マイケル・マハラツクさんの話はとても新鮮で、刺激的だったようです。この教訓を活かし将来に役立ててほしいと思います。

また、これを機に国際的な視野を持ち、地域を考える子どもに育つことを期待しています。

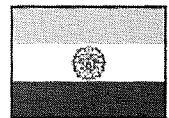
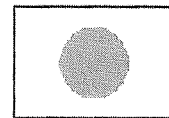


観客を魅了した！優雅で流れるような舞踊。



太鼓を使ったアクロバティックな踊りを披露

インド古典舞踊 ~日印交流年~ マニプリ舞踊公演開催



インド大使館主催のマニプリ舞踊公演が、6月19日と20日に、黒木小学校、島前高校、そして隠岐開発総合センターで行われました。

2007年は、日本とインドが文化協定を締結して50周年にあたります。それを記念して、同年を「日印交流年」として様々なインド祭事業が行われます。その一環として4月には海士町で「クチプダイ舞踊公演」が行われ、今回で2回目の公演となりました。

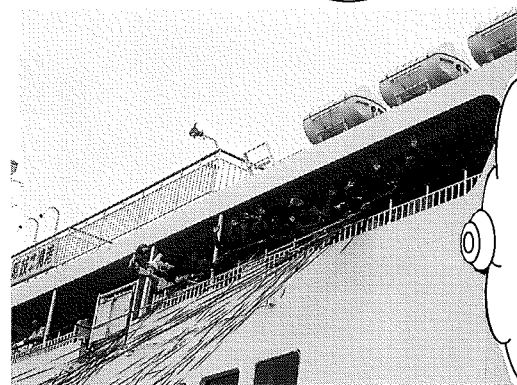
インド大使館主催のマニプリ舞踊公演が、6月19日と20日に、黒木小学校、島前高校、そして隠岐開発総合センターで行われました。

2007年は、日本とインドが文化協定を締結して50周年にあたります。それを記念して、同年を「日印交流年」として様々なインド祭事業が行われます。その一環として4月には海士町で「クチプダイ舞踊公演」が行われ、今回で2回目の公演となりました。

舞踊団のメンバーは海士を離れる際にフェリーの甲板で目を真っ赤にしながら姿が見えなくなるまで手を振っていました。



マニプリ舞踊団のキンニャモニャ



お別れにて... 紙テープを張って思いでに残るさよなら。



# AMAワゴン

## AMAワゴンとは

一橋大学関ゼミ、人間力推進PJ、AMA-netとの連携により、交流事業の新しいカタチを模索するべく、2006年にスタート。熱く活躍する講師と参加者で、離島の学校でもまちづくりに関わる実施し、学び、出会い、小さな島で大きな感動と成長の想い出と新たな仲間を得るために、AMAワゴン

には新たな観光パンフレット作り「だところた」の素材集めが、大学生たちを中心に行われました。

7月11日から15日まで、第7回AMAワゴンがやってくる。おなじみの出前授業「日本一の授業づくり！」と、「日本一の國づくり・箱庭プロジェクト（仮）」の二本柱。

第7回の出前授業では、神奈川県湘南地域で、養豚【株式会社みやじ豚】を営んでいる若き社長【宮治勇輔氏】を迎えます。今回は、隠岐島前高校（12日）と海士中学校（13日）の二ヶ所で授業を展開します。宮治氏は、農業と地域の活性化をライフワークにし、一次産業をかつこ良くて、感動があり、稼げる3K産業にすることを目指しています。

クチコミで広がり続ける幻のみやじ豚の味は、忘れられない絶品だそうです。

箱庭プロジェクトでは、テーマを『農業からの地域活性化』においた。島の歴史のお百姓さんや、島で頑張る農畜産家さんたちに触れ、語り、島の農業を通して、日本の第

一次産業の活性化の糸口を見つけてもらおうという、壮大に思えるかもしれないが、「まあ、島人と触れ合ってみんしやい」てこと。一番の目標は、島人に「来てもらって良かった。また来てほしい。」と思ってもらえるようなことです。15日の午前中には、意見交換会が、開発センターで予定されています。女性起業コンペ（am・con）との関わりも予定されている。

今後AMAワゴンは、8月、9月、11月と予定されている。「わいわい」と賑やかに、都市部の大学生たちがやってくる。彼らが何を想って、遠路はるばる、この離島にやってくるのか？機会があれば訊いてみるのもいいかもしれない。



出前授業を受けモノの見方・考え方が変わってくる中学生。刺激を受けながら己を研く



もう一つ夏の交流イベントで忘れてはいけなのが「海士町盆踊り大会」島人の熱い想いで昨年復活をしました。

『出逢い、再会、交流』をテーマに、島人を中心に、海士中学生、大学生や、イターンを多く巻き込んで行われました。自分には田舎はなく、盆踊りといえば、アスファルトの駐車場。神社付近であっても、コンビニヤ、交通量の多いネオンきらびやか、ブルー騒音やかましい場所で行われません。

この島に来た一年目に、隠岐神社外苑での盆踊りを体験した。情緒あふれる風景、土を踏みしめて踊る感覚が、今も心に焼きついている。

次の年、中止と聞いて残念だった。

「帰省してくる同級生が集まったわい。」「盆踊り後は、どこの店も満員で、その場で

同窓会が行われつたわ。」「再会の場なんだなあ。」と楽しげに語る人々。40年近くも続いてきた海士町盆踊り。素直に「失くしてはいけぬモノ」と感じた。今年も、大学生や、島内外の若者たちが「手伝いたい！」と、既に声があがっている。自分たちも、AMA-netというグループを組んで、まだ、動き出したばかりの頼りないかもしれない集まりだが、新たな仲間も加わり、動き出している。今年の盆踊りも関わるつもりだ。『出逢い、再会、交流』をテーマに、一緒に手伝ってくれる人がいれば、また新しい「結び」が生まれる。

今年も、島内外の交流が活発になりそうだ。あつつい結わくわく。

AMA-net 豊政幸司

AMA-net 「何かしたい！」が集まると、島の交流が活性化。また、まちをUターンする。

### 【夏のはじまり、あつつい島で...】

4月末、第6回AMAワゴンが走った。ニート・ひきこもりの就職問題に挑む、NP Oコトバノアトリ工代表【山本繁氏】を講師に迎え、中学校で出前授業が行われました。

山本氏が展開するインターネットラジオ「オールニートニッポン」を参考に、人間関係を題材としてラジオ作りが行われました。また、別の日

# 海士中学校修学旅行

## ～かけがえのない体験～ 6月25日～29日

修学旅行の見直しをして数年経ちますが、海士町ではいち早くこの修学旅行を「学習機会の場」として捉え、特に2年前から東京国立市をご縁に様々な取り組みを展開しています。今年で3年目となった一橋大学での『ふるさと学習（歴史・文化）』のプレゼンテーションでは、地元から山内町長、亀谷議長、柏原副議長等応援に駆け付ける中、誰もが堂々と発表したり、国会議事堂での模擬国会の体験、また、ホームステイ等々たくさんの人とふれあい感動あふれる交流が持てたようです。そして何よりも生徒一人ひとりが目標を持ちそれに向かって取り組んだ姿は、これからの大きな原動力に繋がっていくことと思います。その様子をご紹介します。

# 教育だより

6月25日（月）から29日（金）の4泊5日で、2年生25名



地域伝統芸能『神楽』を披露。獅子を目のあたりにし思わず息を飲む観客たち。

は東京に修学旅行に行きました。今回東京が初めてという生徒も多く、普段メディアの中でしか見たことのない日本を中心地を直接肌で感じたことで、生徒たちの視野を大きく広げる機会となりました。特に自分たちだけで都内を散策して回る班別自主研修では、慣れない電車や地下鉄を使いながらも、職員で協力し合って博物館、浅草寺、築地市場などの名所を見学しました。自主研修から帰ってきた生徒たちは、広い東京を自分たちの力で回り

きたという達成感で自信に満ちあふれていました。また、今年で3年目となる

国立市でのホームステイと一橋大学での交流は、ホストファミリーの方々や大学生の協力で今まで以上に深まりを見せることができました。特に一橋大学での海士町PRでは、「ふるさと海士のことをどのようにわかりやすく人に伝えるか」ということを課題に何度も練習を重ねました。プレゼンテーションに合わせ、参観者に海士町から運んできたCASの白いかを食べさせていただいたり、銭太鼓と一緒に体験していただくなど参加型の発表を行ったことで、視聴していただいた方々に大変喜んでいただくことができました。生徒たちにとっても、ふるさとから遠く離れた地でのかけがえのない体験となったことでしょう。

修学旅行を終え、生徒たちは集団としても個人としても大きく成長しました。このような機会を作ってください、ご支援、ご協力をいただきました町当局、保護者の皆様



一橋大学の講堂でお世話になった学生やホストファミリーの方々と一緒に！

### 生徒の感想

厚くお礼申し上げます。

（2年生担任 井奥 昇）

この修学旅行で日本の首都を見ることができ、それだけでもまず勉強になったと思います。1日目のホームステイでは、最初は緊張して何を話しているのかわからず、いろいろと不安でした。でもホストファミリーの方がすぐ受け入れてくださり、マジックな

ども見せてくれてとても楽しかったです。時間が短く、もったいりろいと交流したかったです。2日目の一橋大学での発表は1年生の時から調べてきたことを無事発表することができたので良かったです。海士町をしっかりとアピールできたと思います。3日目は劇団四季の「キャッツ」を観劇しました。すごく上手な演技でびっくりしました。秋の学園祭

では私たちもあんな風に演技をしてみたいです。

4日目の自主研修では自分たちだけで都内を回るのはすごく心配でした。でも、ほとんど予定通りに進み良かったです。何よりも班のみんなが楽しめたことができて良かったです。

この修学旅行を通して、目標であった25人全員が楽しむことができ、良い思い出となりました。

（2年 梅野 愛）

# 思い出の修学旅行

今年は福井小学校6年生11名が5月27日～30日(3泊4日)の日程で、また、海士小学校5、6年生18名が6月19日～21日(2泊3日)の日程で広島・岡山方面へ修学旅行に出かけました。

旅行までの事前学習やこの旅行をとおして学ぶことができた、地域の歴史・文化の見聞を広めたことでしょう。また、子どもたち同志の交流や社会性をも養えた場ではなかったでしょうか。その修学旅行の感想をいただきましたのでご紹介します。

## 福井小学校

『平和について考えた修学旅行』

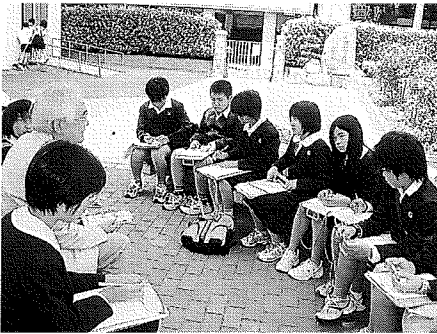
福井小 6年 渡辺優人

5月27日から修学旅行に行きました。修学旅行では原爆ドームや本川小学校に行きました。原爆詩の朗読では、3人の人が原爆を体験した小学生の書いた詩を読んで、それから一人ひとりが読みました。ぼくが読んだ詩は『げんばく』という詩でした。この詩を読もうと思った理由は、原爆はすごく怖いものだと感じることができたからです。本川小学校では、平岡さんのお話を聞いて、もつと原爆のことがよく分かりました。世界には、今、2万7千発もの核爆弾があると知りました。平岡さんのお話から、戦争は人が人をいじめたりする気持ちから起こるとわかったから、みんなと仲よくしていききたいです。

## 『悲しいお弁当』

福井小 6年 岡村貴司

ぼくが修学旅行で思い出に残ったことの一つ「しげるくんのお弁当」があります。しげるくんはお母さんが作ってくれたお弁当を持ちながら歩いていました。それなら上のほうから何かが落ちてきました。それは原子爆弾でした。しげるくんはお弁当を食べることなく死にました。しげるくんのお母さんはしげるくんが黒こげになったお弁当をだいて死んでいるのを見て、かわいそうでかわいそうで仕方なかったと思います。しげるくんも原子爆弾が落ちてきた時「これはお母さんが作ったお弁当だから絶対に手放さない」と思ってお弁当をだきかかえたまま死んでいったと思います。ぼくはそのお弁当を食べていると今のお弁当を食べるのがなかったけど、すごくおいしかったです。



前広島市長の平岡さんから原爆の講話を聞く

## 海士小学校



ナイター観戦。広島VS日本ハムの試合を自作の横断幕を持って応援!

海士小 6年 田中 裕志

朝食を食べ終わると、まずバスに乗って中工場に行きました。見てみると、とても大きな建物で、清掃センターなのかなあと思いました。工場では、見たことのない機械がありました。初めて知ったことがたくさんあって、とてもいい勉強になりました。午後からは平和公園に行きました。展示してあったものは、昔のことを語っているようで、平和についていろいろなることを考えさせられました。

海士小 5年 浮田 萌絵

二日目で一番楽しかったことは、班別行動です。私はボーリングの班でした。ボーリングで最初は、ぜんぜんできなかったけれど、途中でストライクを出せてものすごくうれしかったです。ボーリングで心に残ったことは、ストライクを出せたことと、芽生さんが一番最初にこけたことです。

それからおみやげを買いました。私の妹もおみやげを買ってきてといてくれたので、ストラップを買ってあげました。うれしがると思うので、妹のうれしそうな顔を早く見たいです。



倉敷チボリ公園にてはいポーズ!

海士小 6年 宇野 由希

今日は出発の日です。レインボーに乗っているときはうきうきしていました。バスに乗って移動していくと、安佐動物園に着きました。トラやライオンなどを見た後、私が楽しみにしていたレッサーパンダの所へ行きました。レッサーパンダはとてかわいくて、3班が行ったときにはずっと立っていました。写真を撮っていないと残念でした。ニシキヘビはとても大きくて、びっくりしてしまいました。夜はナイター観戦に行きました。最初はもうあがらなかったけど、だんだん応援が楽しくなってきました。日本ハムのダルビッシュ選手に会って、すごくうれしかったです。

## 北野神社 町指定天然記念物

## 大ヤブツバキの修復作業見聞記 知々井

私が海士町に来て2週間程たった5月11日、知々井区の北野神社にある『大ヤブツバキ』の、折れた枝の腐食防止作業が行われると聞き、作業記録の写真係として、修復作業に立ち会うことになった。

北野神社に着くと、地区の人たちが集まって椿を見上げている。私も目をやると、なんと見事な大きさだった。枝は約12四方に広がっており、樹高は約13メートルの巨木である。また根元は2メートルを超す太さで、まるで大蛇のように勢いよく大地に根を張っている

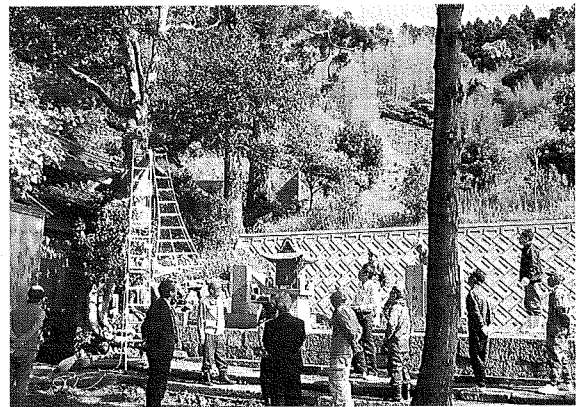


3分の2程度の高さの枝の分かれ目の辺りが腐食して、大きな穴が開いている。ちようどヤカンがすっぽり入ってしまうほどの大きさである。さらに

姿には圧倒された。こんな椿は今まで見たことがない。さらに驚いたことには、神社の境内には椿のほか銀杏と杉があり、どちらも樹勢の良い見事な巨木がそびえ立っているのである。一つの場所に3種類もの巨木があることはとても珍しく、しかもすべて町指定の文化財（天然記念物）となっていた。

このような中で修復作業に立ち会えるなんて、なんてラッキーなんだと思った。

椿の木に立ってかけられたはしごを上ってみると、下から



境内には、椿、銀杏の巨木がそびえ立ち地区の神木となつていつも区民を見守っている。

す。この一連の作業を、一つ一つ丁寧に慎重に行っている姿を見て、当たり前だけれど木々にも生命があるということを感じた。まるで医者さんが患者さんに手当てをしているかのように、できるだけ痛みを感じないように優しく扱う姿から、この地区の人たちの椿に対する深い愛着と誇りが伝わってきました。

作業の合間に、神社についての歴史や伝統行事について話を伺うことができまして話をするのができませんでした。椿を見た時から巻きつけてある縄が気になっていたのですが、縄は大蛇の姿に見立てた荒神さんの蛇巻きという伝統行事で、毎年1月28日に新たな綱を打ち、綱を担いだ地区の中を練り歩いた後、取り替えているらしい。

また椿の枝が折れた際、神社の建物が近くにあるのに、全く被害がなかったそうで、奇跡というか神様のお蔭というか、不思議な倒れ方だったらしい。なんとも不思議な魅力を持つ神社であることは間違いない。

昼休みを挟んで、午後からの作業に行ってみると、地区の人たちは早々に集まっていた。作業も終盤となっていた。椿の木を見上げて作業を見守っている姿は、まるで親が子どもを見守るようなまなざしであった。

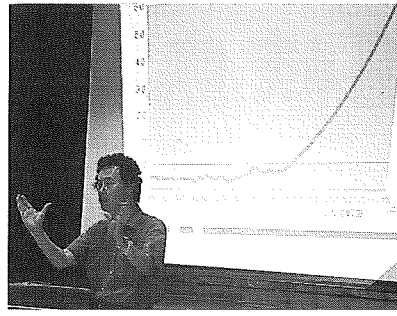
作業が終わった後も、境内で地区の人たちと色々な話が出来た。小学校の頃の思い出や、神社で遊んだ思い出などたくさん思い出話が飛び交う中、車のエンジンの騒音もなく、聞こえてくるのは鳥の鳴き声と木々が風に揺さぶられる音だけ。そんな自然の中で、なんだかすごく癒されている自分を感じた。あんなにじっくりと一つの木を眺めたことも初めての経験だったが、自然の生命力の強さに驚くとともに、日々忘れがちな自然の恩恵を「忘れるなよ」と訴えられているようでもあった。

最後に、突然の参加にも関わらず温かく受け入れて下さった知々井区の皆様、ありがとうございました。

(短期体験研修生

白附 愛)

# 「美しい地球を子どもたちに」講演会



これから地球の平均気温は急激に上昇していく

6月19日、開発センターにおいて高木善之氏による「美しい地球を子どもたちに」の講演会を開催しました。中学生からご年配の方まで、総勢150名もの人が集まりました。話は地球温暖化から食糧問題、砂漠化など一見難しく思える地球環境問題でしたが、終始笑いが絶えず、一方で深刻な現実には涙を流す方もいて、皆さん真剣に聴き入っていました。

例えば、100年後には気温が約6度上昇、海面が5m上昇

- まずは・・・
- 『事実を知ること』  
今すぐできること
- ・電気の無駄遣いをしない。
  - ・車のアイドリングをやめる。
  - ・エコバックを持って買い物に行く。
  - ・ペットボトルの代わりに水筒を使う。
  - ・割り箸の代わりにマイ箸を使う。
  - ・家族団らん
- ※講演で配布しましたアクリルたわしを使うと、食器を洗剤なしで洗えます。

し、平野部にある大部分の都市がなくなりそうです。氷河期と今の温度差を比べると4度程度でこの「6度」がどれほど大きな地球の変化か良く理解できます。他にも、日本の食料自給率は28%。食べ物の3割は廃棄しているにも関わらず一方で一日に約5万人の子どもが餓死しています。

世界で起きている現状を目の当たりにし、今まで自分達が見ようとしなかった現実を真剣に受け止め、未来の子ども達のために今行動に移すことが急務であることを感じさせる講演でした。そこまで、今の地球は深刻な状況になっているということでした。

## 環境省「学校エコ改修と環境教育」事業(3カ年) 海士中学校がモデル校に選ばれました!



- 平成19年度 検討会を開催  
環境に配慮した校舎について学び、どんな学校にするか皆で考える。
- 平成20年度 学校の改修開始
- 平成21年度 学校の改修終了

真剣に聴き入る住民のみなさん。環境意識の向上と、今、一人ひとりができることを考えてほしいですね!

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 検討会の参加者募集中

- 「学校エコ改修検討会」  
環境に配慮した建築や住まい方を学びます。参加者は、興味のある方全て。建築士・設計士・行政・地域住民等
- 【第1回】6月28日(木)・29日(金)
- 【第2回】7月30日(月)・31日(火)
- 【第3回】9月6日(木)
- 【第4回】10月2日(火)
- 「環境教育検討会」  
学校や地域で実践できる環境教育を学びます。参加者は、興味のある方全て。地域住民・教師・行政等
- 【第1回】8月28日(火)・29日(水)
- 【第2回】2月中

今年度より海士中学校は校舎の老朽化に伴い、環境省「学校エコ改修と環境教育」事業のモデル校指定を受け、環境に配慮した校舎への改修と環境教育を進めていくことになりました。この事業の特徴は、建築家や専門家が一方的に学校を改修するのではなく、計画段階から地域の人・行政・設計士等が共に学ぶ機会を設け、検討会に参加した設計士が設計の提案をし、最終的に町で審査するというものです。

検討会では、今まであまり知ることのできなかった「環境建築」や「環境にやさしい住まい方」「学校のあり方」などを勉強することになります。中学校3年生も学校の改修計画に参加します。現在中学校が抱えている課題は何か。どうすればみんな快適に過ごせる環境に優しい校舎にできるか。子ども達が総合学習の中間勉強し、最終的には大人たちの検討会に提案します。まずは海士中学校から変え、世界を変えていこうと意気込んでいます。

またエコ改修校舎は2年後に完成予定ですので、現在小学生や保育園の子ども達もいずれこの校舎で学ぶこととなります。海士町の子どもを育てていきたいと思えます。

みなさんのご意見や積極的なご参加、お待ちしております。

(海士町教育委員会)

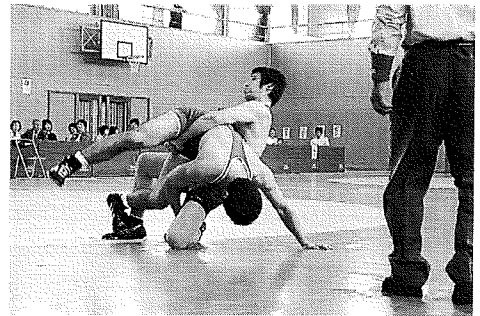
TEL②1222まで

# 隠岐島前高校だより

## 第45回島根県高等学校総合体育大会

～レスリング部大健闘 インターハイ出場～

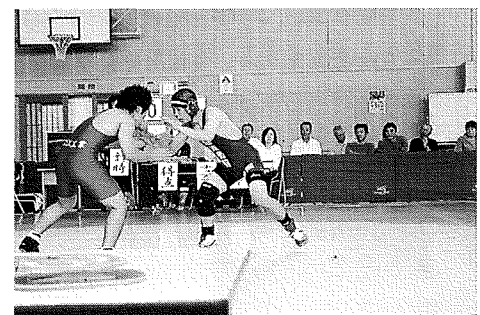
県総体が6月1日～6月3日に島根県各地で開催されました。それぞれの部が部員一丸となってこの大会にのぞむことができました。レスリングは本校体育館での開催となり、地域の多くの方々に温かい声援をいただきました。そのお陰もあり、同部は8月に行われる全国大会（インターハイ）に出場することとなりました。その他の部は3年生が引退し、新メンバーによる活動が始まります。これからも応援をよろしくお願いいたします。



### 総合成績Bグループ（小・中規模の学校）第12位

（男子）Bグループ第5位 （女子）Bグループ第12位

部	団体戦		優勝		（★13年連続・19回目）		
	レスリング部	個人戦	55 kg	優勝	堀川遼太郎		
		60 kg	優勝	大上一紀	2位	青山大助	
		66 kg	優勝	大上知紀	2位	渡辺琢磨	
		74 kg	優勝	宇野 貢	2位	佐伯大介	
		96 kg	優勝	向井涼太			
		120 kg	優勝	亀原宏明			
男子ソフトテニス	団体戦	1回戦			0-3	対 松江商業	
	個人戦	1回戦	高橋・関田		2-4	対 出雲商業	
			竹村・吉本		2-4	対 出雲工業	
女子ソフトテニス	団体戦	1回戦			3-0	対 松江高専	
		2回戦			0-2	対 江津	
	個人戦	1回戦	黒田・渡			4-0	対 三刀屋
		2回戦				3-4	対 安来
		1回戦	青木・福浦			4-2	対 横田
		2回戦				1-4	対 吉賀
		1回戦	角・西村			1-4	対 江津
		1回戦	花岡・村井			1-4	対 吉賀
		1回戦	中浜・服部			4-0	対 明誠
		2回戦				0-4	対 浜田
		1回戦	尾嶋・松前			4-3	対 松江商業
		2回戦				0-4	対 江津
男子バレーボール	1回戦	2-1	対 大田				
	2回戦	0-2	対 松江西				
女子バレーボール	1回戦	0-2	対 浜田商業				
女子バスケットボール	1回戦	62-37	対 情報科学				
	2回戦	29-95	対 出雲北稜				



## 自衛官募集のお知らせ

わが国の平和と国民の生活を守る自衛隊では、次のとおり募集を行います。

- ★一般曹候補生（陸上・海上・航空自衛隊）  
入隊後2年9ヶ月経過以降、選考により3曹に昇任する。  
応募資格 18歳以上27歳未満の者  
応募期間 8月1日（水）～9月7日（金）  
採用試験 9月17日（祝）  
試験会場 松江・出雲・浜田・益田各合同庁舎
- ★航空学生（海上・航空自衛隊のパイロット）  
約2～4年で海上・航空自衛隊のパイロットになる。  
応募資格 高卒（見込含）21歳未満の者  
応募期間 8月1日（水）～9月7日（金）  
採用試験 9月22日（土）  
試験会場 出雲合同庁舎
- ★看護学生（陸上自衛隊）  
3年間の課程を経て、看護師免許取得後、2等陸曹になる。  
応募資格 高卒（見込含）24歳未満の者  
応募期間 9月7日（金）～9月28日（金）  
採用試験 10月14日（日）  
試験会場 出雲合同庁舎
- ★防衛医科大学校学生  
6年間の課程を経て、医師免許取得後、医官（幹部）になる。  
応募資格 高卒（見込含）21歳未満の者  
応募期間 9月7日（金）～9月28日（金）  
採用試験 11月3日（土）～4日（日）  
試験会場 出雲合同庁舎
- ★防衛大学校学生

- 4年間の課程を経て、幹部候補生学校を卒業後、陸上・海上・航空自衛隊の幹部になる。  
応募資格 高卒（見込含）21歳未満の者  
応募期間 9月7日（金）～9月28日（金）  
採用試験 11月10日（土）～11日（日）  
試験会場 出雲・浜田合同庁舎
- ★2等陸・海・空士（陸上・海上・航空自衛隊）  
2～3年を任期期間とする隊員  
応募資格 18歳以上27歳未満の者  
○男性の場合  
応募〆切 別示（細部は県報告示による）  
採用試験  
筆記試験・適正検査・作文  
9月17日（祝）  
試験会場 松江・出雲・浜田・益田各合同庁舎  
身体検査及び口述試験  
9月19日（水）～9月21日（金）の間のいずれか1日  
試験会場 出雲駐屯地  
○女性の場合  
応募期間 8月1日（水）～9月7日（金）  
採用試験 9月25日（火）  
試験会場 出雲駐屯地  
問い合わせ先  
自衛隊島根地方協力本部 隠岐の島駐在員事務所  
TEL 08512-2-8351

## 松江地方法務局から 登記所の統合について（お知らせ）

『松江地方法務局島前出張所』は永い間住民の皆様方にご利用いただいていたまいりましたが、本年7月17日（火）に「松江地方法務局西郷支局」へ統廃合することになりました。

これにより、島前出張所で取り扱ってきました西ノ島町・海士町・知夫村に関するすべての登記事務は、松江地方法務局西郷支局で取り扱うこととなります。

◎不動産・社会法人の登記簿謄本（全部事項証明書）及び印鑑証明書並びに地図の写しは、郵便を利用して取り寄せることができますが、ご利用の便に供するため、請求書用紙及び封筒等を別府郵便局・浦郷郵便局（以上西ノ島町）、海士郵便局・菱浦郵便局（以上海士町）、知夫郵便局（知夫村）の窓口へ備え付けております。

### 問い合わせ先

#### ◆松江地方法務局総務課

所 在 〒690-0886 松江市母衣町50 松江法務合同庁舎  
電話 (0852) 32-4200

#### ◆松江地方法務局西郷支局

所 在 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町55（隠岐の島地方合同庁舎）  
電話 (08512) 2-0240

## 海士町老人クラブ連合会より

私たち海士町老人クラブ連合会は事務局を社会福祉協議会に置き、現在11地区・会員480名で、「健康・友愛・奉仕」を主とした活動をしております。480名ということは、海士町の65歳以上の43%位で半数以上の方が加入しておられないということで大変さびしく思っております。

現在の海士町老連の概要をお知らせし、未加入の方の入会をお待ちしております。併せて町民の皆様方のご理解ご協力をお願いいたします。

### (1) 役員

役員	氏名	地区	役名	氏名	地区
会長	若林 宣男	知々井	監事	松尾 隆雄	北分
副会長	吉田 秀夫	崎	〃	有馬 義博	東
〃	田中 久夫	東	事務局長	山中 重遠	中里
〃	藤田 啓子	豊田	事務局	滝川千恵子	社協
〃	福山 皆子	菱浦			

### (2) 主要行事

行 事	期 日	会 場
グラウンドゴルフ大会	6月21日（木）	運動公園
クロリティ・ベタンク大会	9月15日（土）	海士中学校・開発センター
歴史の散歩道（バス遠足）	10月 3日（水）	西ノ島町（予定）
運動会	11月 4日（日）	海士中体育館
ディスクゴルフ	未 定	未 定

\*この他に研修会もあります。

## 高速船「レインボー2」では必ず「座席シートベルト」の着用をお願いします。

近年、全国の高速船においては、鯨などの大型海洋生物や漂流木材などの水中障害物との衝突事故が多発しており、乗客に負傷者などが発生しております。

隠岐航路においても、鯨などの目撃情報が近年増加しており、「レインボー2」の航海中には障害物との接触を避けるため、止む得ず「急旋回」や「緊急着水」を行う場合があります。

法令により「レインボー2」の航海中は、座席シートベルトの着用が義務付けられております。安全のため、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

「海上保安協会隠岐支部」「隠岐汽船株式会社」

### 合格おめでとう!

第26回さんいん珠算競技大会  
(於:松江市 島根・鳥取から  
約200名参加)

#### ●個人総合

- 小学校3年生の部
  - 努力賞 佐伯 京香(崎)
  - 優良賞 千田 翔(北分)
  - 努力賞 佐々木梓沙(福井)
- 小学校4年生の部
  - 努力賞 佐藤真理愛(東)
  - 優良賞 真野 航大(北分)
  - 努力賞 山戸 彪雅(豊田)
- 小学校5年生の部
  - 努力賞 高橋 芽生(宇受賀)
  - 優良賞 青山 達哉(菱浦)
  - 努力賞 真野 航大(北分)
- 小学校6年生の部
  - 努力賞 山戸 彪雅(豊田)
  - 優良賞 真野 航大(北分)
  - 努力賞 山戸 彪雅(豊田)

2位 青山 達哉(菱浦)  
全国珠算学校連盟珠算・暗算・  
検定合格者(5/27実施)

- 第193回珠算段位
  - 2段 真野 航大(北分)
  - 初段 青山 達哉(菱浦)
- 第246回珠算
  - 3級 千田 翔(北分)
  - 4級 佐々木梓沙(福井)
  - 6級 浮田 萌絵(東)
  - 8級 佐伯 京香(崎)
- 第202回暗算検定
  - 2級 真野 航大(北分)
  - 3級 宇野 由希(北分)
  - 4級 子隅菜々美(福井)
  - 5級 千田 翔(北分)
  - 6級 松田 直也(宇受賀)
  - 7級 真野 航大(北分)
  - 8級 真野 航大(北分)
  - 9級 真野 航大(北分)
  - 10級 真野 航大(北分)

### 町政雑感

去る3月13日午後2時頃、国会(参議院  
予算委員会)において自民党山東明子議員  
の質問の内、全国農漁村の過疎化は年々  
激しく今後の対策はどのように考えている  
かの質問に対し、安倍総理大臣は海士町  
の定住対策を取り上げ過疎に歯止めをかける  
Iターン等の受け入れを積極的に取り入れた  
その結果により地産地消で元気な町づくり  
に取り組み、特産品のさざえカレー等の販  
売に努力していることが紹介された。なお  
一層住民も一体となり町の活性化に努力  
しようではありませんか。

(東 亀田桃一)

### 児童手当制度改正について

平成19年4月1日から児童手当制度  
が拡充されました。

3歳未満児の児童手当が一律月額1万  
円になりました。

◆お問い合わせ先

役場健康福祉課②-1823

### 戸籍の窓

左: 届届出分(太字は地区在住者)

#### すいやか

- 寺下 優里ちゃん 菱浦 裕也
- 平尾 竜希くん 日須賀 一男
- 西村 航くん 知々井 晋

#### しあわせに

- 松本 忠史さん 東
- 小路 裕子さん 東
- 細野 賢二さん 東
- 吉野 珠美さん 菱浦
- 鶴谷 勇気さん 多井
- 小泉亜希子さん 北分
- 中山毅一郎さん 北分
- 古武家美幸さん 北分
- 塚田 貢さん 御波
- 京野 一恵さん 御波
- 吉村 俊彦さん 御波
- 大野 麻実さん 中里
- 志村 亨さん 中里
- 平田 映子さん 菱浦
- 川西 友則さん 菱浦
- 齋藤 幸子さん 保々見

西江 智章さん 北分

倉岡 安志さん 日須賀

光岡さやかさん 日須賀

#### やっぴかに

- 上田 シツ子さん 保々見
- 村上 末子さん 北分
- 上田 カツ工さん 西
- 徳島 カメさん 御波
- 中村 正枝さん 東
- 武田 ヨシ子さん 東
- 武田 春雄さん 東
- 田仲 エミ子さん 豊田
- 仁田 安喜子さん 崎
- 元上 茂雄さん 崎

#### 紙上からお礼

●香典返し

- 金一封 上田 敏治様(保々見)
- 金一封 田仲 菊照様(豊田)
- 金一封 上田 洋美様(西)
- 金一封 武田 幸男様(東)
- 金一封 岡本 努様(大阪市)

(海士町社会福祉協議会・特別  
養護老人ホーム諏訪苑・海士町  
役場より)

#### ●広報郵送料

- 金一封 秋月 鉄好様(大東市)
- 金一封 野澤 利秀様(境港市)
- 金一封 美濃 久美様(境港市)
- 金一封 早田伊勢松様(松江市)
- 金一封 青柳 幸雄様(東京都)
- 金一封 新脇 弘司様(岡山県)
- 金一封 吉田 富子様(山口県)
- 金一封 上敷領久美子様(山口県)
- 金一封 井上恵美子様(隠岐の島町)
- 金一封 松尾 万人様(神奈川県)
- 金一封 立花 良司様(横浜市)
- 金一封 小田百合香様(横浜市)

### 駐在所からのお知らせ

島根県警察官(高卒)採用試験が  
次のとおり実施されます。

1 受付期間

7月9日(月)から8月3日(金)

2 受験資格

大学卒業業者以外の者で平成20年

4月1日現在、満18歳以上30歳以

3 下 受験申込み

浦郷警察署・町内駐在所で受験

申込みの交付を受け、必要事項を

記載のうえ島根県人事委員会事務

局まで提出して下さい。

\*詳しくは、浦郷警察署(電話6

0121)または町内の駐在所

までお問い合わせ下さい。